

(別紙) 成果報告書

清水港周辺エリアの魅力発信に関する研究

静岡大学地域創造学環

指導教員：教授 岩田孝仁、准教授 石川宏之

参加学生：(地域経営コース1年) 遠藤有紗、影山舞、本田圭美、
(環境防災コース1年) 梅田和典、太田智輝、勝又壮平
(地域共生コース1年) 杉山莉奈

(スポーツプロモーションコース1年) 岩崎彩音、加藤楓、藤浪茉央

1 要約

平成28年11月から清水区が実施する「SHIMIZU情報発信ツール開発プロジェクト」事業の一環として、清水港周辺を対象エリアとしたインバウンド効果を中心市街地へ波及させるようなおもてなしと情報発信のあり方を考えるフィールドワークを開始した。

今期の到達点としては、対象エリアの情報発信アイテムとして、外国人観光客へ向けたプロモーション映像の企画立案を行政、地域の各種団体、映像制作者と取り組んだ。

また、清水港振興課が主催する「清水港線跡自転車歩行者道ワークショップ」へもフィールドワークの一部として参加し、複数年に渡り取り組まれている清水都心ウォーターフロントの活性化についても学び、これからの清水港線跡自転車歩行者道の利活用に関する方策提案に携わった。

「SHIMIZU情報発信ツール開発プロジェクト」事業とは

大学が持つ資源（知恵、技術、人材等）と連携しながら、清水区内における地域課題の解決策を導き、魅力あふれるまちづくりを推進する事業である。三保松原が、富士山世界文化遺産の構成資産として登録されたことを機に大型客船の寄港が増加し続ける清水港からJR清水駅前までの広域エリアをモデル地区とし、海洋文化や国際交流の拠点として、国内外から訪れる観光客の受け入れ体制の整備や、インバウンド効果を中心市街地へ波及させていくことを目的としている。

2 研究の目的

清水港は大型客船の寄港が増加する一方で、国内外から訪れる観光客の受け入れ体制が十分に整備されておらず、インバウンド効果が中心市街地へと波及されていない現状にあり早急な対応が求められている。

そこで、観光客に対する地域ならではの「おもてなし」の追究や情報発信ツールの見直しを図り、清水区の魅力であるしずまえ鮮魚、食品加工技術、ウォーターフロントに点在する商業施設、商店街による各種イベントの開催など、様々な地域資源を活用し、情報発信に繋げることで交流人口や活動人口の増加を目指す。

3 研究の内容

(A：予定どおり実施できた)

地域創造学環のフィールドワークは、複数年に渡る取り組みを想定している。初年度となる今年11月からは、対象エリアの現状を把握するため、現地見学や年次計画を想定した協働先からの演習課題の提示と関連ワークショップへ参加した。

実践活動としては、映像制作業者の指導の下、外国人観光客へ向けたプロモーション映像の企画立案に携わり、コンセプトや映像コンテンツを提案した。

また、フィールドワークの一部として参加した「清水港線跡自転車歩行者道ワークショップ」においては、一般参加者と共に清水港線跡自転車歩行者道の利活用について、各種イベントの実施や情報発信の見直し等について提案をまとめ発表した。

| | |
|-------------------|--|
| フィールドワーク 実施協力者 | <p>■静岡市清水区地域総務課 堀和恵、望月知里</p> <p>■静岡市清水港振興課 大貫敬久</p> <p>■(有)アシック 久米英之（代表取締役）、水野邦亮</p> |
| 取材協力者 | <p>■清水駅前商店街振興組合 ■河岸の市 ■静岡市清水文化会館「マリナート」</p> <p>■静岡市東部勤労者福祉センター「清水テルサ」 ■エスパルスドリームプラザ</p> <p>■フェルケール博物館 ■静岡市こどもクリエイティブタウン「ま・あ・る」</p> <p>■港湾会館清水日の出センター「清水マリンビル」 ■静岡市東海道広重美術館</p> |

【フィールドワーク活動内容】

| | | |
|-----|-------------------------------------|---|
| 第1回 | 11月3日(木祝) 9:30~17:00 [現地見学] | <p>対象エリア「清水港周辺」の見学 清水駅前商店街振興組合理事長より商店街の歴史や現在の取り組みなどを学んだ。施設見学による地域の現状、課題及び情報収集。</p> <p>【見学先】 ①清水駅前商店街振興組合 ②河岸の市 ③静岡市こどもクリエイティブタウンま・あ・る ④静岡市清水文化会館「マリナート」 ⑤静岡市東部勤労者福祉センター「清水テルサ」 ⑥清水港線跡自転車歩行者道</p> |
| 第2回 | 11月28日(月) 12:45~14:15 [静岡大学] | <p>行政等からの当該事業に関するレクチャー ①「SHIMIZU 情報発信ツール開発プロジェクト」について ②清水港線跡自転車歩行者道ワークショップの概要説明 ②演習課題について</p> |
| 第3回 | 12月1日(木) 18:30~20:30 [清水テルサ] | <p>「第2回清水港線跡自転車歩行者道ワークショップ」への参加 ①前回の振り返りと各団体の活動紹介 ②グループ討議 ・自己紹介（アイスブレイク） ・ポケットパークの利活用について（3つのテーマで話し合い） ・まとめ、グループ発表</p> |
| 第4回 | 12月23日(金祝) 13:00~18:00 [現地見学] | <p>映像制作レクチャーと「清水港周辺」の見学（2回目） 施設見学を兼ねて ①映像制作業者からの映像制作に関するレクチャー ②広重美術館学芸員による浮世絵版画と蘭字の関係性について ③ドリームプラザ営業開発部長による外国人観光客の実態について ④フェルケール博物館学芸員及びマリンビル管理者による清水港の歴史について</p> <p>【見学先】 ①静岡市東海道広重美術館 ②フェルケール博物館 ③エスパルスドリームプラザ ④港湾会館清水日の出センター「清水マリンビル」</p> |
| 第5回 | 1月16日(月) 12:45~14:15 [静岡大学] | <p>演習課題の発表 実施協力者へプロモーション映像制作のコンセプト及びポイントになると思われる素材（撮影場所延べ21箇所）について各自が発表した。</p> |

| | | |
|-----|------------------------------------|---|
| 第6回 | 1月19日(木) 18:30~20:30 [清水テルサ] | 「第3回清水港線跡自転車歩行者道ワークショップ」への参加 テーマごとのアイデアの抽出と提案 ①前回の振り返りと取り組みたいテーマの仲間探し ②グループ討議、発表 ・テーマごとのアイデア抽出、提案書作成 ・まとめ、グループ発表 ※発表内容は、「5地域への提言」を参照 |
|-----|------------------------------------|---|

4 研究の成果

協働先から提示された演習課題に対して、各自が複数の映像コンテンツを発表し、外国人観光客に対する効果的なプロモーションの提案ができた。

また、「清水港線跡自転車歩行者道ワークショップ」においては、一般参加者と共に協力しながら大学と企業や地域が連携した清水港線跡自転車歩行者道の利活用について、「5地域への提言」のとおりに（一部抜粋）発表した。

5 地域への提言

Aグループ：旧清水港線の歴史を伝える場づくり

| | |
|---------|---|
| タイトル | K S G K (旧清水港線ジオラマで活性化) |
| 中心団体・組織 | 学生、清水鉄道遺産保存会、市民 |
| 支援メンバー | 市、地域住民、学生 |
| ねらい | ジオラマを設置し、歩いて、見てもらうことで清水港線の存在を知ってもらい遊歩道にぎわいの創出をめざします。 |
| 特徴 | 遊歩道を歩くことによって、清水港線の歴史を楽しみながら学べる というところが自慢。 |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道に、旧清水港線のジオラマ設置（清水駅—三保駅） ・説明看板に携帯をかざすと、当時の動画が見られる ・車輪を用いたベンチ ・ポケットパークを行うワークショップと連携（ここで走らせる列車の制作）。 |

Bグループ：健康・スポーツ活動の推進

| | |
|---------|--|
| タイトル | スポーツを通じた人が集まる環境づくり |
| 中心団体・組織 | ハード：行政 ソフト：地域のスポーツ団体、静岡県NW協会、スポーツインストラクター |
| 支援メンバー | ドリームプラザ。JR（さわやかウォーキング） |
| ねらい | 誰もが安心・安全に歩ける歩道づくりをめざします。 |
| 特徴 | 車通りが無く、直線で、スポーツするのに最適な道 というところが自慢。 |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラ設置 ・自動販売機（AED付き、防災機能付き） ・距離表示 ・初心者も楽しめるスポーツイベント（ルディックウォーキング、ランニング）。 |

Cグループ：ピクニック・イベント等の活用

| | |
|---------|-------------------------|
| タイトル | AAA（安心・安全・明るい） |
| 中心団体・組織 | 静岡大学地域創造学環 |
| 支援メンバー | 企業、行政、地元の高齢者 |
| ねらい | にぎやかで安全安心な地域情報発信の場をめざす。 |

| | |
|----|--|
| 特徴 | 子どもたちだけでも安心して安全というところが自慢。 |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・企業（地元企業：エスパルス・でんでん体操、Jオイルミルズなど）と子どもが関わる健康増進プロジェクト ・大道芸のサテライト（若手などの活躍できる場） ・親子で楽しめる青空教室（読み聞かせと体操、紙芝居） ・プレミアム感のある大人向けのイベント（ウッドデッキなどの広場でビアガーデン、缶詰パーティなど）。 |

Dグループ：ポケットパーク

| | |
|---------|---|
| タイトル | 清水のウラ・オモテ |
| 中心団体・組織 | 静岡大学地域創造学環 |
| 支援メンバー | 商店街、ドリームプラザ、駅 |
| ねらい | 気軽に立ち寄れて、歴史が感じられる空間をめざす。 |
| 特徴 | 普段づかいとイベントづかいができる というところが自慢。 |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ちびまるこちゃんの世界観 車輪を使ったベンチ 電車内から食べ物販売 休憩スポット 地面に線路を描く 地面に電車のプレート埋め込み ・ポケットスペースを線路で囲むハロウインのカボチャ教室、紙芝居、桜の木を植える、肝試し、スイカ割、夏祭り、七夕祭り、天体観測、イルミネーションをします。 |

6 地域からの評価

今年度においては、11月からの実施ということもあり短期間ではあったが、協働先との調整により、関連ワークショップへの参加をフィールドワークに取り入れるなど、地域課題に取り組む市民や各種団体等との意見交換の場に参加できたことは、学生にとっても良い経験となった。

しかしながら、本学のフィールドワークとしては、研究課題への解決策や提案に導くまでの提言には至らなかったため、次年度以降は、プログラムの見直しや学生に対する自主的なフィールドワークに移行し、より具現化しながら教育していく必要があるとの意見をいただいた。

研究活動の様子「清水港フィールドワーク」



清水駅前商店街振興組合理事長との面談



現地見学／こどもクリエイティブカマ・あ・る



現地見学／清水港線跡自転車歩行者道



現地見学／エスパルスドリームプラザ



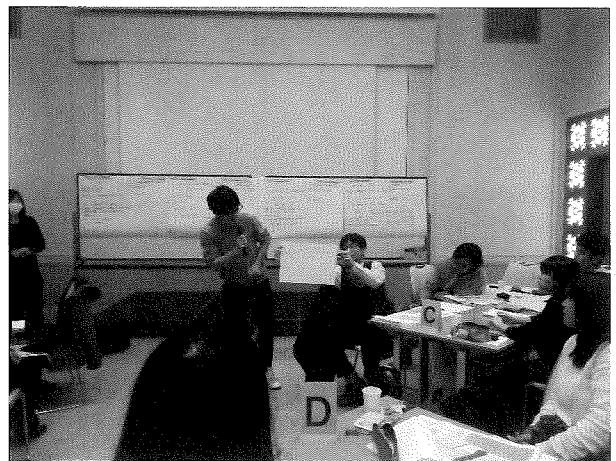
現地見学／エスパルスドリームプラザ



映像制作レクチャー



現地見学／東海道広重美術館



ワークショップ

